

登校拒否・非行・自閉症・障害児

個性を尊重しながら「食える」ように付き合ってきた男の物語



『学習塾の可能性——福生・タメ塾の記録』(ユック社:1982年刊行)を復刻

さらば寂しすぎる教育

福生市・タメ塾の記録

全国書店にて発売決定!

四六判 並製 縦組み 296頁

定価 2,420円

ISBN978-4-7948-1246-9

若者の自立支援に携わる方、教師・保護者の皆様に思い出して欲しい!

いったい誰が、子どもに本当の優しさ、というか「厳しい優しさ」というものを教えるのだろうか。いったい誰が、子どもに価値の判断を教えるのだろうか。いったい誰が、子どものわがままや本当の甘えの姿勢を正すのだろうか。いったい誰が、子どもの自立の力をつけさせ、自立の厳しさを教えるのだろうか。
(本文P.21より)

そもそも1977年開校

福生タメ塾とは?

これまで100冊以上の教育書を手掛けた編集者が、感銘を受け、自信を持って現代に送り出す!
昭和の出来事では片づけられない!現代でも取り入れられるべき“タメ塾”スタイル!

東京郊外に位置する「福生」という小さな市の片隅にあった風変わりな学習塾。

口コミによる評判と本の効果からか、「不登校・ひきこもり支援の先駆者」として全国から相談が相次ぐ施設へと変貌。

保護者に請われれば全国どこへでも家庭訪問を実施し、時には、面談さえかなわない子ども達相手に10回、20回と根気強く訪問を繰り返し、父兄からの信頼も得る。問題を抱えている子ども達は、その状況によってはタメ塾の宿泊施設で他の子ども達・塾講師と共同生活を送り、社会性を養うことになる。工藤定次を主体とした塾講師たちは、子ども一人ひとりの個性を尊重し、マニュアルなど一切もない手法で、数多くの問題(非行・自閉症・登校拒否・障害)を抱えている子ども達を、社会に通用する人間として世に送り出した。

そして、1999年6月、「特定非営利活動法人促進法」の制定と同時に「NPO法人青少年自立援助センター」として法人化にされた。

「子どもと付き合いきる」という定次氏の信念は今日まで引き継がれ、本書では、その活動内容が余すことなく紹介されている。

著者紹介

工藤定次 (くどう・さだつぐ)

1950年 福島県生まれ。早稲田大学文学部、和光大学人文学部に
て心理学、社会学を学ぶ。

1977年より福生・タメ塾を開講。

生前、雑誌『伝統と現代』に執筆するほか、日本テレビ『お屋の
ワイドショー』に教育問題でコメンテーターとして出演。

2019年永眠。享年68歳。

工藤姫子 (くどう・ひめこ)

1955年 神奈川県生まれ。

1975年 和光大学入学。

1976年 工藤定次と結婚。

1999年 NPO法人青少年自立援助センター専務理事就任
(現職)。

一男二女の母。

【ご注文方法】 お近くの書店へお申し込み下さい。近隣に書店なき場合は、新評論営業部へ直接お申し込み下さい。下記注文票に必要事項をご記入のうえ、FAXでお送りいただくか、もしくは必要事項をメールでお送り下さい。ご指定住所に送料無料で直接お送りいたします。お支払いは書籍に同封の郵便振替用紙(手数料小社負担)、もしくは銀行振込(「三菱UFJ」あるいは「さらぼし」:振込手数料はお客様ご負担となります)にてお願い申し上げます。

番線印	工藤定次・工藤姫子 著		冊
	さらば寂しすぎる教育 福生・タメ塾の記録		
	四六並製 296頁 定価2,420円 ISBN978-4-7948-1246-9		
ご住所 〒	—		
お名前	電話番号	— —	

株式会社新評論 営業部 TEL: 03-3202-7391 FAX: 03-3202-5832

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-16-28 MAIL: sales@shinhyoron.co.jp